

五十嵐喜芳（いがらしきよし） - プロフィール

- 1955年 第24回NHK毎日音楽コンクール(現：日本音楽コンクール)声楽部門
第1位特賞受賞。
- 1956年 東京芸術大学卒業。中川牧三、四家文子、ニコラ・ルッチの諸氏に師事。
第8回毎日音楽賞受賞。
- 1963年 「椿姫」で第5回毎日芸術賞受賞、大阪府から大阪文化祭賞を受賞。
- 1966年 「カルメン」のドン・ホセでデビュー。その他「リゴレット」「トスカ」
「椿姫」「仮面舞踏会」「ルチア」「セビリアの理髪師」「愛の妙薬」「友人フリッツ」
「真珠とり」「蝶々夫人」などで歌い続け、日本を代表するテノールとして活躍。
- 1981年 財団法人日本オペラ振興会常任理事に就任。
- 1985年 1999年まで第3代藤原歌劇団総監督に就任。在任中に、「カルメン」
「蝶々夫人」「マノン・レスコー」「仮面舞踏会」「ラ・ボエーム」
「妖精ヴィッリ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「ルチア」「リゴレット」
「イル・トロヴァトーレ」「椿姫」「マクベス」「清教徒（日本初演）」
「ドン・カルロ」「アイーダ」「トスカ」「道化師」「ドン・ジョヴァンニ」
「ラ・チェネレントラ」「オテッロ」「ノルマ」「運命の力」「夢遊病の女」
「アンドレア・シェニエ」「愛の妙薬」「ファウスト」「ラ・ファヴォリータ」など
をプロデュース。
- 1991年 紫綬褒章受賞。
- 1992年 日本イタリア商工会議所賞を受賞。
- 1998年 芸術参与として新国立劇場開場記念公演「アイーダ」で公演監督を務める。
藤原歌劇団との共催公演「ナブッコ」「セビリアの理髪師」で公演監督を務める。
勲三等瑞宝章叙勲。
- 1999年 新国立劇場オペラ芸術監督に就任。（～2003年）
イタリア共和国政府より功労勲章コンメンダトーレ勲章受章。
- 2000年 昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部学長に就任。
- 現在、日本オペラ団体連盟会長、日伊音楽協会会長、（社）日本演奏連盟理事、
（財）東京フィルハーモニー交響楽団評議員

増井敬二（ますいけいじ） - プロフィール

音楽評論家。1921年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。1946年からNHK音楽部ディレクター。ラジオのステレオ音楽番組を創始。1958年に第10回イタリア賞を受賞。オペラ放送を数多く手掛けると共に、NHKイタリア歌劇の演出助手を2度務め、また歌劇『寝太』の演出が好評を博す。

定年後は、神奈川大、横浜国大、武蔵大、東京声専音楽学校の各講師を務めたほか、音楽評論活動を続ける。

〔主要著書〕

『データ・音楽・にっぽん』、『日本のオペラ～明治から大正へ』、『浅草オペラ物語』、『オペラを知っていますか』、『日本人と音楽』（日本近代洋楽史研究会を主宰・編著して発刊）

渡辺裕（わたなべひろし） - プロフィール

1953年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科教授。文学博士。東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。東京大学助手、玉川大学講師、大阪大学助教授、東京大学助教授を歴任。専門は音楽学。ヨーロッパにおける近代的な聴衆のあり方の成立と変容を主題にした『聴衆の誕生』（サントリー学芸賞）以来、一貫して音楽の文化論的な視点からの研究を展開している。

最近では日本文化の近代化という視点から明治以後の日本における西洋音楽受容と伝統音楽の変容をテーマに据え、『宝塚歌劇の変容と日本近代』、『日本文化モダン・ラブソデイ』（芸術選奨文部科学大臣新人賞）などの著作を発表している。

下八川共祐（しもやかわきょうすけ） - プロフィール

立教大学法学部卒業。

1973年 藤原歌劇団公演「カルメン」より公演に係わる。

1976年 「セビリアの理髪師」「カプレーティ家とモンテッキ家」「アンナ・ボレーナ」「マリア・ストゥアルダ」等のベルカントオペラを主体に1984年の「トスカ」まで25演目の制作担当。

1980年 藤原歌劇団代表に就任。
学校法人東成学園（昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部・昭和音楽芸術学院）
理事長就任。

1981年 藤原歌劇団代表を辞任し、日本オペラ協会総監督大賀寛氏とともに、財団法人日本オペラ振興会を設立し、常任理事に就任。

1999年 「蝶々夫人」より2003年4月「ラ・ボエーム」まで19演目を制作。この間、新国立劇場での公演や、韓国公演などを含め、通算で44演目の制作を担当する。

他に、社団法人日本演奏連盟常任理事、財団法人スターダンサーズバレエ団理事。

杉理一（すぎのりかず） - プロフィール

学習院大学卒業。1958～87年NHK音楽部TVディレクター。イタリア歌劇公演舞台監督、演出助手。TVオペラ制作演出、世界一流歌劇場中継他「音楽の広場」「名曲アルバム」等看板番組担当。国際ザルツブルクオペラ賞71年「死神」2位、74年「鳴神」グランプリ受賞。

90年ニュー・オペラ・プロダクション設立。「耳なし芳一」文学人形オペラ「鳴神」「泥棒とオールドミス(森公美子主演)」「おこんじょうるり」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「道化師」藤沢「ファウスト」市川「アドリアーナ・ルクヴルール」神戸「ウィンザーの陽気な女房達」「ヘンゼルとグレーテル」鹿児島「カントミ」信濃川「みるなの座敷」松江「耳なし芳一」他を制作、演出。映像、舞台（世界一流歌劇場、新国立劇場、N響、読響他）オペラ字幕監修50タイトル。

99年杉オペラ演技研究所設立。二期会オペラスタジオ（25年間）、昭和音大、朝日カルチャー、NHK文化センター等講師歴任。03年新日鉄音楽賞特別賞受賞。

野村三郎（のむらさぶろう） - プロフィール

音楽社会学専攻。

早稲田大学大学院博士課程修了。ウィーン大学、ウィーン国立音楽大学に留学。

鹿児島オペラ協会設立（昭和46年8月）。第1回「音楽の友社賞」受賞（昭和52年）。

福岡で九州オペラフェスティバルを組織・開催（昭和57年）。

霧島国際音楽祭創設（昭和55年）。

音楽雑誌：「ムジカノーヴァ」「ショパン」「音楽芸術」「音楽の友」「グランドオペラ」などに執筆。

新聞：全国紙全てに執筆。

著書：『ウィーン・フィルハーモニー』（中央公論新社）

『ウィーンをあなたに』（仮題）（ショパン社、本年刊行予定）

訳書：J・N・ダーヴィッド著『二声インヴェンションの研究』（音楽之友社）

楽譜：ショパン全集（パデレフスキ版、日本版）編集委員並びに訳。

CD：ウエストミンスター復刻盤CDの解説など執筆。

鹿児島短期大学教授、東邦音楽大学ウィーンアカデミー教授・理事など経て、ウィーン・メロス音楽研究所代表をつとめる。

三木稔（みきみのる） - プロフィール

徳島市生まれ。東京芸術大学作曲科卒業。《春琴抄》《あだ》《じょうり》《ワカヒメ》《隅田川＋くさびら》《源氏物語》など1500年の日本史をカバーするオペラ連作、《鳳凰三連》《大地の記憶》など東西を結ぶ管弦楽曲、《マリンバ・スピリチュアル》《弦楽四重奏曲》などの室内楽曲・独奏曲の多くは海外からの委嘱で作曲され、国際的なレパートリーになっている。歌曲・合唱曲・邦楽器作品多数。映画音楽は《愛のコリーダ》がよく知られている。

一方、日本音楽集団、歌座、結アンサンブル、オーケストラアジア、オーラJ、アジアアンサンブルなどを創立、それら演奏団体への作曲・芸術監督やプロデュースで、かつてない創造活動を国際的に展開中。

著書『日本楽器法』『オペラ《源氏物語》ができるまで』

芸術祭大賞、芸術祭賞、ジロー・オペラ賞、1991年徳島県文化賞、1994年紫綬章、2000年旭日小授章など受賞。

東京音楽大学・四国大学客員教授。

詳しくはwww.m-miki.com参照。

関根礼子（せきねれいこ） - プロフィール

- 1971年 国立音楽大学楽理学科卒業。
（株）音楽旬報社にて「音楽旬報」の編集に従事するかたわら音楽評論活動。
- 1981年 フリーにて音楽評論、オペラ研究に従事。
- 1990年 芸術文化振興基金専門委員
- 1991年 財団法人ニッセイ文化振興財団理事
- 1995年 財団法人二期会オペラ振興会評議員、
財団法人東京オペラシティ文化財団理事、
昭和音楽大学オペラ研究所嘱託研究員に就任。
- 1996年 『日本のオペラ年鑑』編纂委員長に就任。
文化庁文化政策推進委員会議専門委員
- 2000年 新国立劇場調査事業専門委員会委員
- 2002年 （財）三菱信託芸術文化財団評議員就任。

主な著書 『オペラの世界』（三一書房、1983）

現在 『日本オペラ史 1953年からの半世紀』（仮題）執筆中。